

- ・カリキュラム（兼）講師一覧表（参考様式 3-1）とは別に作成してください。
- ・記入例を参考に、日程、時間割、科目、担当講師を具体的に記入したカリキュラムを作成してください。
記入例では、補講について記載していませんが、補講を実施する場合は、記載してください。
- ・演習等においてグループ分けする場合は、各グループ別の担当講師がわかるように記載してください。
- ・演習、実習については、定員人数が受講する前提で作成し、演習における講師の分担の内容など、実施方法を記載してください。

第1号研修実施計画

《基本研修（講義）》

| 日程 | 時間 | 項目 | | 担当講師 |
|------|---------------------|-------|--|----------------|
| 1 日目 | 9:30 ～ 11:00 | 第 1 章 | 人間と社会 (1)介護職と医療的ケア(0.5) (2)介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度(1.0) | 広島 一子 研修 一太 |
| | 11:10 ～ 14:00 | 第 2 章 | 保健医療制度とチーム医療 (1)保健医療に関する制度(1.0) (2)医療的行為に関係する法律(0.5) (3)チーム医療と介護職との連携(0.5) 〈休憩 50 分含む〉 | 広島 一子 喀痰 引美 |
| 2 日目 | 10:00 ～ 15:00 | 第 3 章 | 安全な療養生活 (1)喀痰吸引や経管栄養の安全な実施(2.0) (2)救急蘇生法(2.0) 〈休憩 60 分含む〉 | 広島 一子 研修 一太 |
| 3 日目 | 10:00 ～ 12:40 | 第 4 章 | 清潔保持と感染予防 (1)感染予防(0.5) (2)職員の感染予防(0.5) (3)療養環境の清潔、消毒法(0.5) (4)滅菌と消毒(1.0) 〈休憩 10 分含む〉 | 広島 一子 喀痰 引美 |
| 4 日目 | 9:00 ～ 12:20 | 第 5 章 | 健康状態の把握 (1)身体・精神の健康(1.0) (2)健康状態を知る項目（バイタルサインなど）(1.5) (3)急変状態について(0.5) 〈休憩 20 分含む〉 | 広島 一子 研修 一太 |
| 5 日目 | 9:00 ～ 15:40 | 第 6 章 | 高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」概論① (1)呼吸のしくみと働き(1.5) (2)いつもと違う呼吸状態(1.0) (3)喀痰吸引とは(1.0) (4)人工呼吸器と吸引(2.0) 〈休憩 70 分含む〉 | 広島 一子 喀痰 引美 |
| 6 日目 | 9:00 ～ 15:40 | 第 6 章 | 高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」概論② (5)子どもの吸引について(1.0) (6)吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意(0.5) (7)呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して）(1.0) (8)喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認(1.0) (9)急変・事故発生時の対応と事前対策(2.0) 〈休憩 70 分含む〉 | 広島 一子 喀痰 引美 |

| | | | | |
|-------|---------------------|----------------|--|----------------|
| 7 日目 | 9:00 ～ 16:00 | 第 7 章 | 高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説① (1) 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 (1.0) (2) 吸引の技術と留意点 (5.0) 〈休憩 60 分含む〉 | 広島 一子 喀痰 引美 |
| 8 日目 | 10:00 ～ 14:30 | 第 7 章 第 8 章 | 高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説② (3) 喀痰吸引にともなうケア (1.0) (4) 報告および記録 (1.0) 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論① (1) 消化器系のしくみとはたらき (1.5) 〈休憩 60 分含む〉 | 広島 一子 研修 一太 |
| 9 日目 | 10:00 ～ 15:00 | 第 8 章 | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論② (2) 消化・吸収とよくある消化器の症状 (1.0) (3) 経管栄養法とは (1.0) (4) 注入する内容に関する知識 (1.0) (5) 経管栄養実施上の留意点 (1.0) 〈休憩 60 分含む〉 | 広島 一子 研修 一太 |
| 10 日目 | 10:00 ～ 15:30 | 第 8 章 | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論③ (6) 子どもの経管栄養 (1.0) (7) 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 (0.5) (8) 経管栄養に関する感染と予防 (1.0) (9) 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 (1.0) (10) 急変・事故発生時の対応と事前対策 (1.0) 〈休憩 60 分含む〉 | 広島 一子 研修 一太 |
| 11 日目 | 9:00 ～ 16:00 | 第 9 章 | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説① (1) 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 (1.0) (2) 経管栄養の技術と留意点 (5.0) 〈休憩 60 分含む〉 | 広島 一子 研修 一太 |
| 12 日目 | 10:00 ～ 12:00 | 第 9 章 | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説② (3) 経管栄養にともなうケア (1.0) (4) 報告および記録 (1.0) | 広島 一子 研修 一太 |
| | 13:00 ～ 14:00 | — | 筆記試験 | 広島 一子 研修 一太 |

《基本研修（演習）》

| 日 程 | 時 間 | 項 目 | 担当講師 |
|-----|---------------------|--|----------------|
| ○日目 | 8:30 ～ 10:00 | グループA (○名)、グループB (○名) 共通 ○救急蘇生法 | 研修 一太 喀痰 引美 |
| ○日目 | 10:00 ～ 17:00 | グループA (○名) ○口腔内の喀痰吸引 5回以上 ○鼻腔内の喀痰吸引 5回以上 ○気管カニューレ内部の喀痰吸引 5回以上 ○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型） 5回以上 ○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形の栄養剤） ○回以上 ○経鼻経管栄養 5回以上 | 研修 一太 喀痰 引美 |
| △日目 | 9:00 ～ 16:00 | グループB (○名) ○口腔内の喀痰吸引 5回以上 ○鼻腔内の喀痰吸引 5回以上 | 研修 一太 喀痰 引美 |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | ○気管カニューレ内部の喀痰吸引 5回以上 ○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型） 5回以上 ○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形の栄養剤） 〇回以上 ○経鼻経管栄養 5回以上 | |
|--|--|--|--|

≪実地研修≫

【実施場所 特別養護老人ホーム〇〇〇〇〇 (受講者〇名)】

| 日程 | 時間 | 項目 | 担当講師 |
|---------------|-----------|--|----------------|
| 〇日 目 以降 | 8:30 ～ | ○口腔内の喀痰吸引 10回以上 ○鼻腔内の喀痰吸引 20回以上 ○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型） 20回以上 ○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形の栄養剤） 〇回以上 ○経鼻経管栄養 20回以上 | 実習 一郎 実習 次郎 |

【実施場所 介護保健施設〇〇〇〇〇 (受講者〇名)】

| 日程 | 時間 | 項目 | 担当講師 |
|---------------|-----------|--|----------------|
| 〇日 目 以降 | 8:30 ～ | ○口腔内の喀痰吸引 10回以上 ○鼻腔内の喀痰吸引 20回以上 ○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型） 20回以上 ○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形の栄養剤） 〇回以上 ○経鼻経管栄養 20回以上 | 介護 一子 介護 二子 |